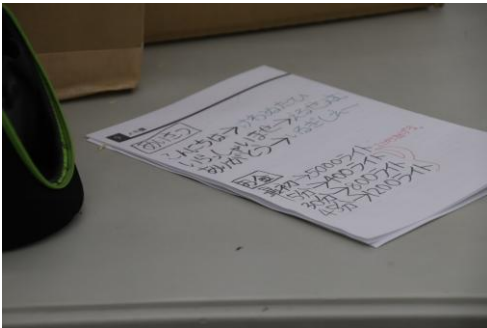


2024 子どもだけのまちをつくろう！第7回実行委員会(3.9)

学生サポーター研修

当日に向けて、学生サポーター研修を行いました。
実行委員経験者や、サポーターを何年も続けている人もいますが、改めて子どものまちの趣旨を理解し、サポーターとして大切にしたいことは何か？を考える時間を作りました。

「どうしていいかわからなくて困っている当日参加者がいたとき、どうする？」という問いに対して、輪になってそれぞれの対応について話してもらう時間。「まずは話を聞いてみる」「仲良くなる」「やりたいことが何か、聞いてみる」「選択肢を与えて、選んでもらう」「様子を見て、実行委員につなげる」など、子どもに寄り添った優しいサポーターの気持ちが出てきました。
educa+からは「前提として、何に困っているのか？決めつけないようにしてみる」「何もしない、ということがあってもいい」「実行委員に繋ぐ」「30分後、1時間後のその子の状況も見てみる」などの意見が出ました。
子ども自身が自分で解決できる！と信じて見守るためには、すぐにサポーターが動くのではなく、様子を見ることも大切。サポーターとしての責任感が強いからこそ、自分たちでどうにかしなきゃ、と思いがちだけど、実行委員に頼ってみよう、任せてみることも大切なのかも？という新しい視点を得る時間となりました。



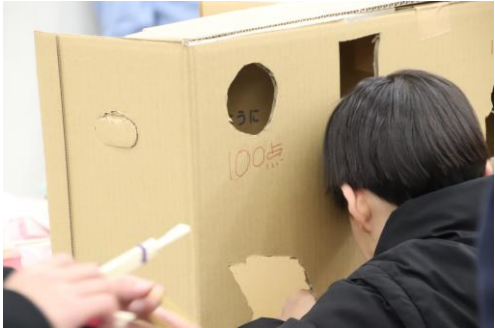
課ミーティング

課ごとで話し合いや活動をし、各課から全体に協力してほしいことや、知らせたいことをまとめました。
その後各課長より発表があり、実行委員はマニュアルにメモをしながら聞きました。
□あいさつ・コミュニケーション向上課→まちの中で使う挨拶4種類を説明
□まちの企画・イベント課→スタンプラリーとキーワード集めをまちの中に点在する
□職業・お店サポート課→各企業で働く人に宣伝だけでなく宣伝ポスターづくりができるようにする
□まちのデザイン課→まちのポスターをたくさん書いていました
□まちのルール課→一方通行の印や、まちのルールを説明
□市長→働く時間や給料の金額、給料の渡し方について説明



各企業準備→

お店の姿が少しずつ見えてきました。みんなとっても楽しそうです。通帳のお金を使い切ってしまった！と予算管理の大切さを実感する実行委員もいました。



←本番に向けて 注意事項説明

マニュアルが配られ、準備日、当日の集合時間や持ち物、流れなどを説明。実行委員一人ひとりがスタッフとしての意識を持って本番に臨むように話しました。いよいよ本番が迫り、ワクワクする実行委員です。

